



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3765 URL <http://www.gungho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理 本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	87,414	△26.7	36,549	△37.9	36,106	△38.9	23,166	△37.8
27年12月期第3四半期	119,219	△10.2	58,858	△19.9	59,063	△18.5	37,251	△25.1

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 22,653百万円(△37.4%) 27年12月期第3四半期 36,185百万円(△23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	25.24	25.22
27年12月期第3四半期	34.51	34.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	45,315	36,013	75.1
27年12月期	108,078	90,356	81.9

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 34,040百万円 27年12月期 88,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	4.50	4.50
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 27年12月期期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 1円50銭

3. 28年12月期の配当額は未定であります。

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期末毎に実施する決算業務及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	952,103,160株	27年12月期	1,057,892,400株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	240,928,438株	27年12月期	98,417,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	917,789,321株	27年12月期3Q	1,079,448,850株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- 平成28年10月28日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本におけるスマートフォンゲーム市場は、平成27年度の9,250億円から平成28年度には9,450億円（出典：株式会社矢野経済研究所）まで成長するとの予測があるものの、その拡大速度はこれまでと比べ緩やかになってきていることに加え、引き続き、各社から多数の新作ゲームの投入が見込まれることから、当社を取り巻く競争環境は厳しさを増しつつあります。一方、「東京ゲームショウ2016」では、VR（バーチャルリアリティ）端末をはじめとした、新たな技術や楽しみ方が提案され、新しい市場の創出も期待されております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、スマートフォン向けゲームの売上高が減少したことから前年同期比で減収となりましたが、新作ゲームの開発及び既存ゲームのMonthly Active User（月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大に注力してまいりました。

新作ゲームでは、平成28年7月28日にニンテンドー3DS<sup>™</sup>向け「パズドラクロス」を発売いたしました。また、この発売に先立って平成28年7月4日より連続TVアニメ「パズドラクロス」の放送を開始しております。さらにゲーム発売日と同日、アニメと連動したホビー商品の発売も開始いたしました。このように当社としては、初の大規模なクロスメディア展開を行っており、「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」のブランドの強化・拡大に努めております。

また、平成28年中には、プレイステーション<sup>®</sup>4向けオンラインアクションゲーム「LET IT DIE（レット イット ダイ）」と、スマートフォン向けRPG「SEVENTH REBIRTH（セブンス・リバース）」の配信を予定しております。

スマートフォン向け「パズドラ」では、有名キャラクターとのコラボイベントや、アップデートを継続的に実施してきたことに加え、GPS機能を活用した「パズドラ」連動探索ゲーム「パズドラレーダー」を投入し、ユーザーの活性化を図ってまいりました。また「パズドラレーダー」では、人型ロボット「Pepper（ペッパー）」とのコラボレーションを実施するなど、新たな取り組みも行なってまいりました。

海外におきましては、中国版「パズドラ」を中国の総合的なインターネットサービス大手Tencent社と中国ゲームユーザーの嗜好に合わせて改変を行い、平成28年5月26日より事前登録を開始し、7月19日にAndroid版、7月20日にiOS版の正式サービスを開始しました。

パートナーパブリッシング事業では、ゲームロフト社（本社：フランス）から日本国内におけるパブリッシング権を獲得したスマートフォン向けゲーム「ディズニー マジックキングダムズ」の事前登録を平成28年9月5日より開始し、10月3日にAndroid版、10月11日にiOS版の正式サービスを開始しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間は売上高87,414百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益36,549百万円（前年同期比37.9%減）、経常利益36,106百万円（前年同期比38.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23,166百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、45,315百万円（前連結会計年度末比62,763百万円減少）となりました。これは主に、公開買付けにより自己株式を取得した結果、現金及び預金が減少したことによります。

負債合計は、9,301百万円（前連結会計年度末比8,420百万円減少）となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、36,013百万円（前連結会計年度末比54,343百万円減少）となりました。これは主に、純資産が自己株式の取得に伴い減少したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表及び当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,045	25,726
売掛金	15,024	6,579
有価証券	1,388	1,245
商品	10	11
仕掛品	1	68
繰延税金資産	778	311
その他	1,196	1,812
貸倒引当金	△32	△23
流動資産合計	99,413	35,731
固定資産		
有形固定資産合計	256	913
無形固定資産		
ソフトウェア	595	833
ソフトウェア仮勘定	2,925	2,052
その他	76	87
無形固定資産合計	3,597	2,973
投資その他の資産		
投資有価証券	1,620	1,368
繰延税金資産	502	981
その他	2,812	3,458
貸倒引当金	△123	△110
投資その他の資産合計	4,811	5,697
固定資産合計	8,665	9,583
資産合計	108,078	45,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	406	348
短期借入金	77	764
1年内返済予定の長期借入金	936	178
未払法人税等	10,209	3,230
賞与引当金	12	12
その他	5,422	3,664
流動負債合計	17,065	8,199
固定負債		
長期借入金	158	87
退職給付に係る負債	12	10
その他	485	1,004
固定負債合計	656	1,101
負債合計	17,721	9,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,469	5,469
利益剰余金	119,937	103,601
自己株式	△42,314	△80,130
株主資本合計	88,430	34,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	—
為替換算調整勘定	△11	△237
その他の包括利益累計額合計	109	△237
新株予約権	176	368
非支配株主持分	1,639	1,604
純資産合計	90,356	36,013
負債純資産合計	108,078	45,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	119,219	87,414
売上原価	39,336	29,949
売上総利益	79,882	57,465
販売費及び一般管理費	21,023	20,915
営業利益	58,858	36,549
営業外収益		
受取利息	120	47
為替差益	157	—
その他	46	31
営業外収益合計	324	79
営業外費用		
支払利息	36	21
自己株式取得費用	58	53
為替差損	—	432
その他	25	15
営業外費用合計	119	522
経常利益	59,063	36,106
特別損失		
減損損失	204	500
特別損失合計	204	500
税金等調整前四半期純利益	58,858	35,606
法人税、住民税及び事業税	21,085	12,503
法人税等調整額	999	△12
法人税等合計	22,084	12,491
四半期純利益	36,774	23,114
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△477	△51
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,251	23,166



四半期連結包括利益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	36,774	23,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	△121
為替換算調整勘定	△779	△339
その他の包括利益合計	△588	△460
四半期包括利益	36,185	22,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,825	22,818
非支配株主に係る四半期包括利益	△640	△164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年 2月3日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,443	3.00	平成26年 12月31日	平成27年 3月9日

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年4月28日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けによりソフトバンク株式会社から自己株式188,235,200株(取得価額79,999百万円)を取得しております。

また、平成27年6月24日開催の取締役会決議に基づき、平成27年6月30日付で自己株式94,117,600株を消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が39,533百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が42,314百万円となっております。なお、ソフトバンク株式会社は平成27年7月1日付でソフトバンクグループ株式会社に商号変更しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	4,317	4.50	平成27年 12月31日	平成28年 3月7日

(注) 1株当たり配当額の内訳は、普通配当3円00銭、記念配当1円50銭であります。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年6月21日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けにより主にソフトバンクグループ株式会社から自己株式248,300,000株(取得価額73,000百万円)を取得しております。

また、平成28年8月24日開催の取締役会決議に基づき、平成28年9月2日付で自己株式105,789,240株を消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が37,815百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が80,130百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。